

# 令和5年度 学校関係者評価委員会の報告

学校関係者評価委員会 委員長 黒木 美枝

令和5年度の学校関係者評価の結果、以下のとおり報告いたします。

## I 重点目標について

富士中では、重点目標として『基礎的な知識や技能を習得させ、主体的に課題を解決する能力を育成する』『自律と自信を大切にし、コミュニケーション能力を育成する』『安全や心身の健康への意識の向上と教育相談の充実に努める』の3点を挙げ、それぞれに数値目標を設定しています。

『基礎的な知識や技能を習得させ、主体的に課題を解決する能力を育成する』では学校関係者評価アンケート生徒独自項目『わたしは、意欲的に学習に取り組み、よく考えようとしている。』の肯定的評価80%以上を目指しています。生徒の肯定的評価は79.1%で、ほぼ目標に近い数値です。また、生徒の『先生は、課題について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を探している。』は88.4%、『先生は、生徒の意欲を大切にしている。』は84.8%で、ともに目標の80%を超えていました。引き続き細やかな対応と、生徒自ら考え、課題解決を図ろうとする粘り強い授業創りをお願いします。

『自律と自信を大切にし、コミュニケーション能力を育成する』では学校関係者評価アンケート生徒独自項目『学校生活は達成感がある。』の肯定的評価80%以上を目指しています。生徒の肯定的数値は73.1%ですが、『学校生活は楽しい。』では86.2%と高い数値を示しています。また、『学校行事は達成感がある。』では88.7%、『学校行事は楽しい。』では92.6%と共に目標の80%を大幅に超えています。また、『授業では、考えたことを話し合ったり、発表し合ったりする機会がある。』は生徒の肯定的評価は86.6%と高い数値になっており、『私は、ノーチャイム制によって、時間を意識している。』でも84.4%と、高い数値を示しています。他者に貢献できる基盤は育まれていると読み取れます。「自律」と「貢献」を意識した富士中プライドの醸成に期待します。

『安全や心身の健康への意識の向上と教育相談の充実に努める』では学校関係者評価アンケート生徒対象『私は、体力の向上や健康な生活に取り組んでいる。』の肯定的評価80%以上を目指しています。生徒の肯定的評価は68.6%で目標には届きませんでした。また、生徒の『先生たちは、生徒が相談しやすい。』の肯定的評価は63.3%で保護者の『本校は、子どもや保護者が相談しやすい。』の肯定的評価は65.3%で、ともに目標をクリアできませんでした。学校の安全性については、保護者の『本校は、避難訓練やセーフティ教室などで、子どもに安全に関する指導をしている。』の肯定的評価は79.0%と目標に近い値でした。『本校は、安全な学校づくりを進めている。』の肯定的評価は保護者64.8%、地域100%でした。今後は、より相談しやすい学校を目指し、保護者との連携を密に生徒の安全や健康に対する意識を高めることをお願いします。

## II 家庭・地域との連携・協働による教育について

地域運営学校に指定されて15年目になりました。小中合同クリーン作戦、避難所運営訓練、古着回収、挨拶運動や富士フェス（代沢地区文化スポーツ交流会）等の地域活動・ボランティア活動をとおして、地域との交流を図っています。活発なボランティア活動で、多くの生徒と教職員が参加していることも富士中のすばらしさだと思います。地域貢献活動の場所を、学び舎内の小学校と幼稚園、地域内の児童館に広げ、自己の判断で参加しやすくし、「in（地

域の中で) with (仲間と一緒に) for (地域のために)」の取り組みも行われています。一方、学校関係者評価アンケートの地域対象項目『学び舎の活動について情報が提供されている。』『学校協議会や合同学校協議会が役割を果たしている。』『地域の意見に対して、学校はていねいに説明・対応している。』に関しては、昨年度と比べて数値が下がりました。今後、地域との連携がより深くなるように期待します。

### III 「世田谷9年教育」で実現する質の高い教育活動の推進

富士中は学習の「質と量」を常に大切にしています。質としては、数学・英語における「少人数習熟度別授業」の実施、教員による授業研究・授業観察を実施し、指導方法の工夫に取り組んでいます。併せて各教科において「ＩＣＴ活用授業」の推進を図っています。アンケートの生徒独自項目『漢字検定、数学検定、英語検定のためのキャリアアップ講座や放課後学習・学習相談は富士中生にとって役立つ取り組みだと思う。』では生徒の肯定的数値は85.2%、保護者は93.8%で高評価でした。さらに、夏季補習教室・区土曜講習会・朝学習や「コミュニケーションタイム」等も定着しています。

世田谷9年教育にのっとり「キャリア・未来デザイン教育」として小学校3校と多聞幼稚園、富士中とで計画的に連携が行われており、活動は継続され、安定しています。生徒の学び舎に関する『学び舎の小学校に行ったり、小学生が来たりする機会がある。』のアンケート結果では、肯定的な回答の数値が61.9%で、昨年度よりも7%増えました。また、保護者の『本校は、近隣の(幼稚園)小・中学校で構成する「学び舎」の(幼稚園)小学校行ったり(幼稚園)小学生が来たりする機会がある。』も62.5%で昨年度と比べ16.0%増えました。「学び舎」の区立(幼稚園)小学校について情報が提供されている。』は43.1%が肯定的な回答で、昨年度より8.2%増えました。また、教職員アンケートの『本校(私)は、「学び舎の区立(幼稚園)・小学校について、情報が提供している。』も肯定的回答の数値が77.0%でした。しかし、地域の『「学び舎」の活動について、情報が提供されている。』の肯定率は66.7%と昨年度より16.7%下がりました。今後、情報提供の方法にさらなる工夫が必要です。「富士中だより」～学び舎通信～欄は、学校の様子がよくわかる情報が載っています。また、ホームページからも情報提供が行われています。

「新入生児童・保護者説明会」は10月に開催されました。2年生による「ツアーガイド」や吹奏楽部の演奏、生徒の力で作り上げた富士中PR動画はとても好評でした。富士中PTAによる「ツアーガイド」も昨年同様好評でした。

広報活動・情報提供については保護者の『本校は、様々な便りなどで、保護者に情報を提供している。』の肯定的数値は79.5%でした。地域の『学校からのお知らせ(学校だより)などにより、学校の様子がわかる。』は88.9%で、ともに高数値でした。

1年生の河口湖移動教室、2年生の職場訪問、職場体験学習、3年生の修学旅行はすべて実施できました。3学期には校外学習も予定されています。さらに、ゲストティーチャーの講義は毎年工夫されており、進路指導(キャリア教育)に活かされています。また、『部活動は、楽しい。』の生徒・保護者の肯定的数値はともに75%を超える数値です。今後も保護者会での部活動の説明や「部活動紹介」の実施、「仮入部期間」の説明など、より丁寧な対応をお願いします。

### IV 信頼と誇りのもてる学校づくりについて

学校についてのアンケートでは、生徒の『先生は、課題について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中で取っている。』と『先生は、生徒の意欲を大切にしている。』では生徒の評価はいずれも80.0%以上の高評価でした。『本校は、子どもの意欲を大切にしている。』の保護者の肯定的数値は79.0%で、昨年より2.

3%上りました。

安全管理については、『本校は、安全な学校づくりを進めている。』の肯定率は、保護者の64.8%でした。また、保護者の『本校は、避難訓練やセーフティ教室などで、子どもに安全に関する指導をしている。』の肯定率は79.0%でした。ともに昨年度より大幅に下がりました。安心して学校生活を送れる環境づくりへ更なる努力をお願いします。地域の『学校は、安全性を高めようと地域と協力している。』は66.6%でした。自然災害時の情報提供について保護者の『本校は、自然災害時の対応を子どもや保護者に提供している。』は63.6%で、昨年より10.8%下がりました。地域との連携や保護者への更なる情報提供が必要と思われます。定期的に行われている安全指導や避難訓練、地域との連携による避難所運営訓練、災害時対応など、保護者・地域の方々とともに、安心・安全な学校づくりへ更なる努力と、密な連携をお願いします。

学校図書館を読書センターと学習センターの両面で機能させていく取り組みは定着し、パソコンも設置されe-ラーニングもでき、図書館利用の生徒は増えています。また、『私は家庭で宿題やe-ラーニングなどで学習をしている。』では生徒・保護者ともに6割前後の肯定的評価でした。区推奨のAI型教材「キュビナ」活用の影響もあるかと思われます。学校運営の今後の取り組みに期待します。また、道徳授業地区公開講座などの土曜授業日への保護者・地域の参加促進を図る「知らせる取り組み」の強化をお願いします。保護者・地域の皆様が学校に足を運ぶ事はとても重要な事です。

## V 学校評価委員会の総合所見

評価委員会としては、まず先生方の日常の努力に感謝いたします。

- 1 学校の重点目標に関する生徒アンケート結果から、先生の指導方法に対する信頼度は高いと読み取れます。「学校が好きで、友達と一緒に学べるのが楽しい」と思える環境作りや「先生は生徒や保護者が相談しやすい」と思える丁寧な個々への対応になお一層の尽力をお願いします。
- 2 今年度はコロナ禍の様々な規制が緩和され、職場訪問、職場体験などの活動が実施されました。生徒が夢や希望、目標をもつことを大切にし、その実現のための道のりを考える機会を保障できるようなキャリア教育の充実を望みます。
- 3 「富士中だより」に、「先輩通信」が掲載されています。時折掲載される卒業生からの体験談は進路に役立つ貴重な情報です。在校生へエールを贈るこの取り組みの継続をぜひお願いします。
- 4 今年度はアンケート自由記述を復活させました。アンケート結果から読み取れない具体的な貴重なご意見もいただいており、今後の教育活動に活かせるよう真摯にご対応をお願いします。
- 5 学校を取り巻くいろいろな環境が、年々、整備かつ改善されていることを評価いたします。なお、継続する課題につきましては、引き続き検討をお願いします。

学校関係者評価委員会 委員長 黒木 美枝  
委 員 森 奈弓  
三島 祥子  
樋口 晴子  
池田 孝子